

どうとくのひろば



5年生の道徳の授業

主題名：不正に立ち向かう強さ

ねらい：【公正，公平，社会正義】

差別をすることや偏見をもつことが間違っていることについて改めて理解し，誰に対しても公正，公平な態度で接しようとする態度を養う。

教材名：「いじめをなくすために」

あらすじ：宮本亜門さんは，いじめをするいやな気持ちに気が付き，やめて欲しいと述べ，増田明美さんは，いじめを見たらできる方法で助けてあげてと呼びかけている。

授業での具体的な様子

五年生の子供たちは，これまでの道徳の時間に自分の好き嫌いにとらわれないで人と接することのよさに気付いたり，誰に対しても分け隔てせず，公正，公平な態度で接することの大切さを学んだりしてきました。教材文を読んだ子供たちは，様々な感想をもちました。いじめをなくすために自分にできることは何かを考えたいと意欲をもった子供たちは，宮本さんや増田さんの体験談を基に，「ひどいことをしているときに心から楽しむことはできない」理由や，「ただ見ている人の存在がいちばん悲しい」理由を考え話し合いました。「本当は悪いことだと分かっているけれど，その気持ちに蓋をしまっている」「自分がされていやなことはやめておく」「見ているだけの人にはならず，勇気を出して行動したい」といった意見が出されました。

そして，いじめにつながる具体的な場面を想定し，「自分だったらどうするか」と問い，自分の取るべき行動について話し合いました。放課後にFさんを仲間はずれにして帰ろうとするDさんに対して，「Eさんの立場で，Dさんに注意をする」「Eさんの立場で，一度Dさんの言うことを聞くが，後日Fさんに声をかけて一緒に帰る」「周囲の人の立場で，Fさんに声をかけて一緒に帰る」などと，自分に合った行動を具体的に考えることができました。

子供たちの振り返り

- 今までは言えないなど，ついやってしまうことがあるからそれにふたをせず，注意したいです。
- これから，仲間はずれになっている人を見つけたら，見ているだけはやめて，その場でできることをしたいです。

教科書36～39を読んで考えたいこと、気になったこと →なぜいやだなという気持ちに蓋をしてしまったのか →どんな判断をすればいいのか	教科書36～39を読んで考えたいこと、気になったこと →どうして、本当はいやなのに、みんなに「やめよう」「自分はやらない」と言えなかったのだろうか。(p36) →なぜ、女の子は、男の子に悪口を言われても、全然気にしなかったのだろうか。(p38)
教科書36～39を読んで考えたいこと、気になったこと →いじめをしている人も、心のそこではいやだなんて思っているんじゃないかなと思いました。 →どうやったらいやだなという気持ちのふたを開けられるのか。	教科書36～39を読んで考えたいこと、気になったこと → ・いじめをやめるためにどうすればいいのかを考えたい ・どうしたらいじめられてる人をどうしたら助けられるのかを考えたい ・どうしていじめをするのかも考えたい



切り取り

道徳だよりへのご質問・ご感想

() 年 () 組 児童名 ()

